

2011年度（平成23年度）活動報告

I. セミナー

テーマ	講師（所属機関）	司会	期日	主催者	共催者
The China Card: Sino-American Relations and the Origins of the Pacific War	Sidney Pash (Fayetteville State University/東京大学フルブライト招聘講師)	遠藤泰生	2011.4.19	CPAS	アメリカ学会
Asian American Feminist Critique of the "War on Terror"	Yen Espiritu (University of California, San Diego)	遠藤泰生	2011.6.21	基盤研究 (A) 「デニスンシップ: 非永住・非同化型広域移民の国際比較研究」、CPAS	アメリカ学会
The Forgotten History of Chinese Aboriginal Relations in North America	Henry Yu (The University of British Columbia)	遠藤泰生	2011.6.27	基盤研究 (A) 「デニスンシップ: 非永住・非同化型広域移民の国際比較研究」、CPAS	アメリカ学会
We Are Here Because You Were There: Migration and Empire in U.S. Global Histories	Paul A. Kramer (Vanderbilt University)	矢口祐人	2011.7.27	CPAS	国際ジャーナリズム寄付講座、アメリカ学会
Signs of Home: The Paintings and Wartime Diary of Kamekichi Tokita	Barbara Johns (タコマ美術館前学芸課長)	矢口祐人	2011.11.29	国際ジャーナリズム寄付講座、CPAS	アメリカ学会
Still a House Divided: Race and Politics in Obama's America	Rogers Smith (University of Pennsylvania)	久保文明	2011.12.16	アメリカ政治研究会	基盤研究 (B) 「アメリカ保守主義レジームの成立・展開とグローバル化の関連をめぐる総合的研究」、CPAS、アメリカ学会
Phantom Dwelling: A Discussion of Judith Wright's Late Style	Anne Collett (University of Wollongong/東京大学アメリカ太平洋地域研究センター客員教授)	古矢 旬	2012.1.18	CPAS	
An International Aspect of Antebellum African-American Activism: Black Americans, Haiti, and the Origins of Black Nationalism	Chris Dixon (The University of Queensland)	遠藤泰生	2012.2.6	基盤研究 (A) 「19世紀前半のアメリカ合衆国における市民編成原理の研究」	CPAS、アメリカ学会
Abolitionism and Gender Reform: Radical Abolitionists' Search for Marital Equality in Antebellum America	Chris Dixon (The University of Queensland)	遠藤泰生	2012.2.9	基盤研究 (A) 「19世紀前半のアメリカ合衆国における市民編成原理の研究」	CPAS、アメリカ学会
This Tender Speech of the Flower: Judith Wright and Kathleen McArthur	Anne Collett (University of Wollongong/東京大学アメリカ太平洋地域研究センター客員教授)	永野隆行 有満保江	2012.3.6	オーストラリア学会	CPAS

II. シンポジウム等

- ・シンポジウム「移民・難民・市民権——環太平洋地域における国際移民」

日時：2011年6月25日（土）13時半～17時

場所：東京大学駒場キャンパス 18号館 1階ホール

開会の挨拶：古矢旬

（東京大学大学院総合文化研究科グローバル地域研究機構長/CPASセンター長）

司会：遠藤泰生

（東京大学大学院教授）

報告：Henry Yu

（ブリティッシュ・コロンビア大学准教授）

“The Shifting History of Migration and Citizenship in the Making of Trans-Pacific Canada”

Yen Espiritu

（カリフォルニア大学サンディエゴ校教授）

“Militarized Refuge: U.S. Militarism in the Philippines, Guam, and Vietnam”

柏崎千佳子

（慶應義塾大学准教授）

「象徴的エスニシティの難しさ——比較の視点からみた日本の移民・同化・市民権」

山下晋司

（東京大学大学院教授）

「一つの世界にともに生きることを学ぶ——滞日外国人と多文化共生」

討議者：Baden Offord

（東京大学大学院オーストラリア研究客員教授）

大津留（北川）智恵子

（関西大学教授）

閉会の挨拶：高橋均

（東京大学大学院教授）

主催：日本学術振興会科学研究費補助金

基盤研究（A）「デニズンシップ：非永住・非同化型広域移民の国際比較研究」

東京大学大学院総合文化研究科附属グローバル地域研究機構

共催：東京大学大学院総合文化研究科地域文化研究専攻

- ・新学術領域研究第4班国際ワークショップ「脱植民地化と帝国」

日時：2012年1月22日（日）13時～18時

場所：東京大学駒場キャンパス 18号館コラボレーションルーム 1

イントロダクション 秋田茂（大阪大学）

第1セッション：脱植民地化と南アジア（インド）

ムリドゥラ・ムカジー（ネルー大学）

Picking up the Pieces: The Fractured Legacy of Empire

討論：粟屋利江（東京外国語大学）

アディティヤ・ムカジー（ネルー大学）

The When and How of Decolonisation in India

討論：木畑洋一（成城大学）

第2セッション：脱植民地化と記憶

マリア・ミスラ（オックスフォード大学）

Memory and the Raj in Post-Colonial India

討論：本田毅彦（帝京大学）

第3セッション：米国と脱植民地化

チアン・ジャイ（オーバーン・モントゴメリー大学）

The Sino-Soviet competition in the Third World in the late 1950s and early 1960s

討論：菅英輝（西南女学院大学）

ロブ・クルース（アムステルダム大学）

Empire and Re-Colonization? The Bush and Obama Administrations Compared

討論：古矢旬（東京大学）

総合討論

III. 研究報告等

- ・研究報告「ジョージ・ウォレスとアメリカ政治の変容」

日時：2012年3月9日（金）15時～17時

場所：東京大学駒場キャンパス14号館2階208号室

報告：古矢旬

（東京大学大学院総合文化研究科グローバル地域研究機構長/CPASセンター長）

IV. 研究プロジェクト

- ・日本学術振興会科学研究費補助金・基盤研究（A）「19世紀前半のアメリカ合衆国における市民編成原理の研究」（代表：遠藤泰生）
- ・日本学術振興会科学研究費補助金・基盤研究（B）「アメリカ保守主義レジームの成立・展開とグローバル化の関連をめぐる総合的研究」（代表：古矢旬）
- ・日本学術振興会科学研究費補助金・基盤研究（C）「トマス・ポーノルの18世紀北米体験と『植民地統治論』の形成」（代表：橋川健竜）

V. 出版活動

- ・『CPAS Newsletter』Vol.12, No. 1（2011年9月）、No. 2（2012年3月）
- ・『アメリカ太平洋研究』第12号（2012年3月）

VI. センター所属教員の2011年1月から12月までの研究活動

古矢旬

[その他の執筆]

- ・「斎藤先生の政治史」斎藤眞先生追悼集刊行委員会編『斎藤眞先生追悼集 駒が回り出した』（東京大学出版会、2011年）、182-193頁。

[口頭報告]

- ・報告「アメリカ研究を世界に開く」、アメリカ政治研究会、東京大学、2011年12月15日。
- ・報告「マッカーシイズム再考」、東京大学法学部政治史研究会、東京大学、2011年11月26日
- ・報告「戦後アメリカにおける草の根保守の系譜」、第4回ヘボン＝渋沢記念講座シンポジウム『アメリカ保守主義の現在：ティーパーティー、知識人、そして共和党』、東京大学、2011年7月28日。

遠藤泰生

[学術論文]

- ・「大西洋から太平洋に：グローバル化の時代におけるアメリカ研究の行方」『オデッセウス』第15号（2010年）、1-17頁。
- ・「共同研究『公共文化の胎動』：その成果と課題」、科学研究費補助金基盤研究（A）成果報告書・遠藤泰生編『公共文化の胎動：建国後の合衆国における植民地社会規範の継承と断絶に関する研究』（2011年）、1-10頁。
- ・“New Perspectives on American Studies: Introduction,” *Nanzan Review of American Studies*, vol. 33, pp. 5-11, 2011.

[その他の執筆]

- ・「核心を掴み取り語る——斎藤眞先生のお仕事」斎藤眞先生追悼集刊行委員会編『斎藤眞先生追悼集 駒が回り出した』（東京大学出版会、2011年）、55-60頁。
- ・「『歴史と和解——歴史教育の現在』：東京大学グローバル地域研究機構公開シンポジウム報告」『アメリカ研究振興会 会報』no. 71（2011年2月）、2頁。

[学会活動等]

- ・“American Studies in the Global Age,” Plenary Session, Nagoya American Studies Summer Seminar, Chair, at Nanzan University, July 24, 2011.
- ・Lecture, “From the sea as a desert of water to the sea of abundance: the development of the vision of the Pacific Ocean among the Japanese from the early 17th century to the mid-20th century,” at the Center for Critical and Cultural Studies, the University of Queensland (AU), November 23, 2011.
- ・運営委員 アメリカ学会第45回年次大会、2011年6月4～5日、東京大学。
- ・組織および司会 グローバル地域研究機構公開シンポジウム「移民・難民・市民権——環太平洋地域における国際移民」2011年6月25日、東京大学駒場キャンパス18号館1階ホール。

酒井哲哉

[学術論文]

- ・「核・アジア・近代の超克——1950年代日本政治思想の一断面」『思想』第1043号、2011年3月号、7-26頁。
- ・「東アジアの地域主義構想——近代日本における<圏域>の思想」『社会思想史研究』第35号、2011年、60-76頁。

[その他の執筆]

・“Review Essay

Explaining the Japanese-German Relationship: The Appeal and Difficulty” in *Social Science Japan Journal* vol. 14, issue 1, 2010, (Oxford University Press), pp. 63-67.

(Japan and Germany: Two Latecomers on the World Stage, 1890-1945 Volume I: German Weltpolitik and the Emergence of Japan as a Power: 1890-1931; Volume II: Japanese-German Rapprochement Policy and its Reality: 1931-45; Volume III: Technology, Thought and Culture—Individuals and Changing Inter-nation Relations, 1890-1945), edited by Akira Kudō, Nobuo Tajima and Erich Pauer. Kent, UK: Global Oriental, 2009, の書評論文)

- ・「新刊紹介 富田武『戦間期の日ソ関係 一九一七—一九三七』」(岩波書店、2010年) (『日本歴史』第753号、2011年2月号)、127-129頁。
- ・「日本政治外交史の神髄：書評 五百旗頭薫『条約改正史——法権回復への展望とナショナリズム』」(有斐閣、2010年)『書齋の窓』第605号、2011年6月号、58-61頁。
- ・「書評・酒井一臣『近代日本外交とアジア太平洋秩序』」(昭和堂、2009年)『西洋史学』第238号、2010年、82-83頁。
- ・「解説」緒方貞子『満州事変 政策の形成過程』(岩波現代文庫、2011年)、423-434頁。

[学会活動等]

- ・討論「1920年代の東アジア国際政治におけるソ連の登場——『革命外交』の虚と実」、2011年度日本国際政治学会部会15、つくば国際会議場、2011年11月13日。

橋川健竜

[学会活動等]

- ・編集代表 日本アメリカ史学会『アメリカ史研究』(1～9月)。
- ・編集委員 アメリカ学会 *The Japanese Journal of American Studies*。
- ・世話人 アメリカ学会第45回年次大会初期アメリカ分科会、東京大学、2011年6月5日。

宮田智之

[口頭報告]

- ・報告「アメリカにおける非イデオロギー系シンクタンクの『停滞』」、2011年度日本比較政治学会研究大会 自由論題報告、北海道大学、2011年6月18日。
- ・報告「アメリカにおけるイデオロギー的分極化とシンクタンク」、USJI研究プロジェクト・セミナー、東京大学、2011年7月21日。

福島啓之

[口頭報告]

- ・報告「関係修復の国際政治理論——日米同盟と戦後日本のアジア外交」駒場国際政治ワークショップ、東京大学、2011年4月28日。